

# プログラム

学術集会第1日（11月17日）

9：30～ 開場・受付

開会式 10:30～10:40（1階・ホール）

口演発表 I（O-1～O-5） 10:40～11:30（1階・ホール）

水産領域の DNA 多型

座長：石黒 直哉（城西大学理学部化学科）

O-1 mtDNA ND5 と ND6 領域の塩基配列によるシシャモの遺伝的集団構造

市川 卓<sup>1</sup>、柳本 卓<sup>2</sup>、工藤 智<sup>3</sup>

<sup>1</sup>東京農業大学生物産業学部、<sup>2</sup>国研 水産研究教育機構 水産資源研究所、

<sup>3</sup>北海道鰯川漁協

O-2 東京湾周辺のトラフグ (*Takifugu rubripes*) の遺伝的集団構造

柳本 卓<sup>1</sup>、鈴木 重則<sup>2</sup>、角田 直哉<sup>3</sup>、高草木 将人<sup>4</sup>、山崎 哲也<sup>5</sup>

<sup>1</sup>水産機構 水産資源研究所、<sup>2</sup>水産庁、<sup>3</sup>神奈川県水産技術センター相模湾試験場、<sup>4</sup>北海道留萌地区水産技術普及指導所、<sup>5</sup>北海道立総合研究機構 栽培水産試験場

O-3 DNA バーコーディングと MIG-seq 法を用いた日本近海産深海性魚類の種多様性の解明

手良村 知功<sup>1</sup>、小枝 圭太<sup>2</sup>、松尾 歩<sup>3</sup>、佐藤 光彦<sup>3</sup>、瀬能 宏<sup>4</sup>、

Hsuan-Ching Ho<sup>5</sup>、陶山 佳久<sup>3</sup>、菊池 潔<sup>1</sup>、平瀬 祥太郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所、<sup>2</sup>琉球大学理学部生物系、<sup>3</sup>東北大学大学院農学研究科川渡フィールドセンター、<sup>4</sup>神奈川県立生命の星・地球博物館、<sup>5</sup>National Museum of Marine Biology & Aquarium

学術集会第1日（11月17日）

環境

座長：若林 敏江（水産大学校）

O-4 モバイル PCR 装置を用いた簡便かつ迅速なアベサンショウウオ  
(*Hynobius abei*) の環境 DNA 検出手法の確立

日和 佳政<sup>1</sup>、戸井田 和希<sup>2</sup>、石黒 直哉<sup>2</sup>

<sup>1</sup>合同会社ローカル SD クリエーション、<sup>2</sup>城西大学理学部

O-5 環境 DNA を用いた滑川町におけるドブガイ類の生息する谷津沼

石黒 直哉、石田 美咲乃

城西大学理学部

ランチオンセミナー 11:50~12:50（1階・ホール）

提供：サーモフィッシャーサイエンティフィック

「分子育種のための AgriSeq -

高スループットジェノタイピングプラットフォーム」

Srinivas Chadaram（Thermo Fisher Scientific）

「諸外国の DNA 型鑑定方針の現状」

本間 武聖（ライフテクノロジーズジャパン株式会社）

同社協賛によりお弁当と飲み物を配布いたします。

代議員会 11:50~12:50（2階・研修室2）

代議員の先生方のみご参集ください。

展示発表 I (奇数番号) 13:00~14:00 (2階・研修室 1)

- P-1 Canine Genotypes Panel 2.1 キットの DNA 個体識別能力の検討  
國田 吹樹<sup>1</sup>、宇田川 智野<sup>1</sup>、稲垣 健志<sup>2</sup>、鈴木 秀人<sup>2</sup>、盆子原 誠<sup>3,4</sup>、  
近江 俊徳<sup>1,4</sup>  
<sup>1</sup> 日本獣医生命科学大学 獣医保健看護学基礎部門、<sup>2</sup> 自治医科大学 解剖学講座法医学部門、<sup>3</sup> 日本獣医生命科学大学 獣医臨床病理学研究室、  
<sup>4</sup> 日本獣医生命科学大学 生命科学総合研究センター
- P-3 骨由来 DNA から種判定の試み  
須田 さくら、北 夕紀  
東海大学生物学部
- P-5 ゲノム解析を用いたダックスフンドの行動に関与する遺伝子の探索  
善本 智佳<sup>1</sup>、荒堀 みのり<sup>1,2</sup>、松本 悠貴<sup>2,3</sup>、村山 美穂<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 京都大学野生動物研究センター、<sup>2</sup> アニコム先進医療研究所株式会社研究開発部、<sup>3</sup> 麻布大学データサイエンスセンター
- P-7 日本国内における飼育下コツメカワウソの地理的由来の推定  
鈴木 瑛之<sup>1</sup>、藤原 摩耶子<sup>1</sup>、Worata Klinsawat<sup>2</sup>、Wanlop Chutipong<sup>2</sup>、  
Cécile Sarabian<sup>3</sup>、Marie Sigaud<sup>4</sup>、Vanessa Gris<sup>5</sup>、村山 美穂<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 京都大学野生動物研究センター、<sup>2</sup> Conservation Ecology Program, King Mongkut's University of Technology Thonburi, Thailand, <sup>3</sup> The University of Hong Kong, Hong Kong SAR, China, <sup>4</sup> Muséum national d'histoire naturelle Département Homme et Environnement, France, <sup>5</sup> 京都大学ヒト行動進化研究センター
- P-9 改変型 DNA ポリメラーゼによるマルハナバチの種判別用マルチプレックス PCR プライマーの開発  
上田 莉帆<sup>1</sup>、今野 英生<sup>2</sup>、奥山 永<sup>1</sup>、西本 愛<sup>1</sup>、清 拓哉<sup>3</sup>、  
高橋 純一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 京都産業大学生命科学部、<sup>2</sup> 玉川大学農学部、<sup>3</sup> 国立科学博物館

学術集会第1日（11月17日）

- P-11 キンカン属5種における MITE-insertion 依存性 *RKD* 遺伝子領域で構築された多胚/単胚識別マーカーによるジェノタイピング  
安田 喜一<sup>1,2</sup>、岡本 慧森<sup>2</sup>、鈴木 健人<sup>1</sup>、富永 晃好<sup>3</sup>、川邊 隆大<sup>1,2</sup>、  
八幡 昌紀<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>東海大学農学部、<sup>2</sup>東海大学大学院農学研究科、<sup>3</sup>静岡大学農学部
- P-13 ゲノム編集によるカラタチアルビノ個体の作成  
遠藤 朋子<sup>1</sup>、遠藤 真咲<sup>2</sup>、島田 武彦<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>農研機構果樹茶業研究部門、<sup>2</sup>農研機構生物機能利用研究部門
- P-15 食物アレルギー多項目同時検出に資する、小麦・そば・落花生 DNA 鑑別法の開発  
騎馬 由佳<sup>1</sup>、夏原 大悟<sup>2</sup>、君山 柚月<sup>1</sup>、後藤 優奈<sup>1</sup>、横川 貴美<sup>1</sup>、  
柴田 隆行<sup>2</sup>、北村 雅史<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>城西大学薬学部、<sup>2</sup>豊橋技術科学大学機械工学系
- P-17 環境 DNA 抽出物の混合試料を MiFish 法に供した場合に得られる魚類の検出結果  
篠原 隆佑、菅野 一輝、村岡 敬子、崎谷 和貴  
土木研究所流域生態チーム
- P-19 RapidHIT ID を用いた凍結保存尿の STR 型鑑定  
岡 博之<sup>1,2</sup>、海野 由紀子<sup>1</sup>、鎌田 一穂<sup>1</sup>、黒田 直人<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>福島県警察本部刑事部科学捜査研究所、<sup>2</sup>福島県立医科大学医学部
- P-21 シングルセルゲノム解析による混合血痕からの個人識別に有効な新規 DNA 型フルプロファイリング法の開発  
同前 友季子<sup>1</sup>、山田 俊輔<sup>1</sup>、岡本 元臣<sup>1</sup>、道上 知美<sup>2</sup>、永井 淳<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>岐阜大学医学部医学科、<sup>2</sup>岐阜大学大学院医学系研究科法医学分野
- P-23 5 番染色体上 STR 型でヘテロピークインバランスが認められた事例  
原山 雄太、佐藤 紀子、小田切 智海、松本 百恵、塩崎 哲也、  
小林 寛也、林 徳多郎、浅村 英樹  
信州大学 医学部 法医学教室

学術集会第1日（11月17日）

- P-25 不完全な STR 型に対応した血縁鑑定ソフトウェアの開発  
森本 千恵<sup>1,2</sup>、眞鍋 翔<sup>3</sup>、川合 千裕<sup>1</sup>、濱保 英樹<sup>1</sup>、宮尾 昌<sup>1</sup>、  
玉木 敬二<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京都大学法医学、<sup>2</sup>京都府警科捜研、<sup>3</sup>関西医大法医学
- P-27 SNaPshot を用いた日本人集団の Y 染色体ハプログループ C 系統の細分類  
張 若谷、上田 篤、水口 清、大澤 資樹  
東海大学医学部基盤診療学系法医学
- P-29 次世代シーケンサーによる STR 近傍配列中にある多型の個人識別への  
利用の検討  
多木 崇、木林 和彦  
東京女子医科大学医学部
- P-31 父子鑑定事例で 5 反復単位分の減少変異をみた突然変異例とその反復構  
造解析  
北川 美佐、鈴木 廣一、野村 和克、齋藤 高志、佐藤 貴子  
大阪医科薬科大学医学部予防・社会医学講座法医学教室
- P-33 民間の DNA データを用いた犯罪捜査に関する意識調査  
佐藤 倫<sup>1</sup>、倉橋 浩樹<sup>2</sup>、大江 瑞恵<sup>3,4</sup>、佐藤 労<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>名古屋掖済会病院 遺伝相談室、<sup>2</sup>藤田医科大学医科学研究 センター分  
子遺伝学研究部門、<sup>3</sup>藤田医科大学医療科学部 レギュラトリーサイエン  
ス分野、<sup>4</sup>藤田医科大学大学院保健学研究科遺伝カウンセリング分野、  
<sup>5</sup>藤田医科大学医学部倫理学
- P-35 口腔内液（唾液）中 DNA に関する研究（第 4 報）  
千葉 正悦<sup>1</sup>、太田 昂矢<sup>2</sup>、鉄 堅<sup>2</sup>、磯部 英二<sup>2</sup>、内ヶ崎 西作<sup>2</sup>、  
奥田 貴久<sup>2</sup>、飯酒盃 勇<sup>3</sup>、小森 賢一<sup>4</sup>、呂 彩子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>聖マリアンナ医科大学 法医学教室、<sup>2</sup>日本大学 医学部 社会医学系法  
医学分野、<sup>3</sup>日本大学 医学部 内科学系神経内科学分野、<sup>4</sup>聖マリアンナ  
医科大学 医学部 医学科学生

特別講演 14:10~15:10（1階・ホール）

座長：猿渡 敏郎（東京大学大気海洋研究所）

「遺伝資源に関するアクセスと利益配分(ABS)と  
デジタル配列情報(DSI)への対応」

鈴木 睦昭 先生

（国立遺伝学研究所 産学連携・知的財産室 ABS 学術対策チーム 責任者）

口演発表 II（O-6~O-8） 15:20~15:50（1階・ホール）

動物の DNA 多型

座長：北 夕紀（東海大学生物学部海洋生物科学科）

O-6 島国のイヌワシ：全ゲノム解析が解明する遺伝的多様性

佐藤 悠<sup>1,2</sup>、Emily Humble<sup>2</sup>、Rob Ogden<sup>2</sup>

<sup>1</sup>国立環境研究所・生物多様性領域、<sup>2</sup>The Roslin Institute・The University of Edinburgh・UK

O-7 サル赤血球上のABO式血液型抗原発現がABO遺伝子第1イントロンの分子進化により規定される—ABO式組織型はいつどのように血液型になったか—

福田 治紀<sup>1</sup>、佐野 利恵<sup>1</sup>、窪 理英子<sup>1</sup>、大石 高生<sup>2</sup>、宮部 貴子<sup>2</sup>、兼子 明久<sup>2</sup>、高橋 遥一郎<sup>3</sup>、早川 輝<sup>1</sup>、矢澤 伸<sup>4</sup>、小湊 慶彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup>群馬大学法医学講座、<sup>2</sup>京都大学ヒト行動進化研究センター、<sup>3</sup>筑波大学法医学講座、<sup>4</sup>群馬大学病態総合外科学講座

O-8 ミトコンドリアの制御領域およびMIG-seq法を用いたウミウの遺伝的多様性の解析

中根 理充、北野 誉

茨城大学大学院理工学研究科

口演発表 III（O-9～O-13） 16:00～16:50（1階・ホール）

植物の DNA 多型

座長：島田 武彦（農業・食品産業技術総合研究機構）

- O-9 MIG-seq 法による植物資料の法科学的な種内多型解析法の開発  
吉川 ひとみ<sup>1</sup>、黄 鶴<sup>2</sup>、柘 浩一郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>科学警察研究所、<sup>2</sup>株式会社 生物技研
- O-10 DNA 分析によるサツマイモ加工品の品種識別の試み  
田中 勝<sup>1</sup>、ハク エムダドウル<sup>1</sup>、進藤 彰子<sup>2</sup>、門田 有希<sup>2</sup>、  
田口 和憲<sup>1</sup>、峯岸 恭孝<sup>3</sup>、竹内 朋幸<sup>4</sup>、高崎 一人<sup>4</sup>、内藤 嘉磯<sup>5</sup>、  
磯部 祥子<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、<sup>2</sup>国立大学法人岡山大学、<sup>3</sup>株式会社ニッポンジーン、<sup>4</sup>株式会社ファスマック、<sup>5</sup>公益財団法人かずさ DNA 研究所
- O-11 dd-RAD-Seq 法によるキャベツ品種の識別性  
磯部 祥子、白澤 健太  
かずさ DNA 研究所
- O-12 サツマイモ品種の簡易・迅速な識別を可能とする DNA 検査キットの開発  
門田 有希<sup>1</sup>、柿木 茉歩<sup>2</sup>、ハク エムダドウル<sup>3</sup>、竹内 朋幸<sup>4</sup>、  
高崎 一人<sup>4</sup>、田中 勝<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>岡山大・院環境生命科学、<sup>2</sup>岡山大・農、<sup>3</sup>農研機構・九冲研、<sup>4</sup>株式会社ファスマック
- O-13 GRAS-Di<sup>®</sup>技術を用いた *Brassica rapa* における *big flower* 変異体の多型検出および原因遺伝子の推定  
富永 晃好<sup>1</sup>、荻原 実里<sup>1</sup>、八幡 昌紀<sup>1</sup>、下川 卓志<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>静岡大学農学部、<sup>2</sup>量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所

## キャリアパス委員会企画 17:10~18:00（1階・ホール）

大学や大学院を修了した後、若手研究者には多様な場での活躍が期待されます。企画前半では、2名の先生方から自身のキャリアパスについてお話いただきます。後半は、グループディスカッションを行い、ベテラン研究者を含めた会場の皆様とともに、若手研究者のキャリアパスについて考える機会を設けたいと思います。ここ数年、コロナ禍で人的交流が制限されていましたが、この機会を人的ネットワーク形成の場としてご活用いただければ幸いです。みなさまお誘いあわせの上、ぜひお気軽にご参加ください。

### 1. 趣旨説明

門田 有希

（岡山大学学術研究院環境生命科学学域、キャリアパス委員会・委員長）

### 2. 話題提供

座長：西 健喜（東京慈恵会医科大学法医学講座）

「自身のキャリアの回顧的な意味づけ」

高橋 遥一郎 先生（筑波大学法医学講座）

座長：村山 美穂（京都大学野生動物研究センター）

「コロナ禍での学振海外ポスドク」

佐藤 悠 先生（国立環境研究所生物多様性領域）

### 3. グループディスカッション

学術集会第2日（11月18日）

9:00～ 開場・受付

口演発表 V（O-17～O-20） 10:00～10:40（1階・ホール）

性別判定・遺伝子発現・臨床応用・その他

座長：浅利 優（旭川医科大学法医学講座）

O-17 配列特徴量に基づく迅速な性別判定法の開発

石谷 孔司

産業技術総合研究所・生命工学領域

O-18 乳幼児突然死例におけるブチリルコリンエステラーゼの変異解析

上田 篤<sup>1</sup>、磯崎 翔太郎<sup>1</sup>、垣本 由布<sup>1</sup>、内藤 春顕<sup>1,2</sup>、大澤 資樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東海大学医学部基盤診療学系法医学、<sup>2</sup>近畿大学医学部法医学

O-19 SARS-CoV-2 陽性死体の表面および検体の感染リスクについて

前田 一輔、臼元 洋介、田邊 桃佳、國中 光、小川 典子、加藤 雄也、  
向井 萌、那須 亜矢子、福家 千昭、井濱 容子

横浜市立大学大学院医学研究科法医学

O-20 浴槽内の水に存在するヒト DNA を用いた入浴時間の推定

町田 光世、木林 和彦

東京女子医科大学医学部

口演発表 IV（O-14～O-16） 10:50～11:20（1階・ホール）

法科学的鑑定・その他

座長：落合 恵理子（北里大学医学部法医学）

O-14 ランダムフォレスト法を用いた DNA 鑑定における検出ピークの判別

眞鍋 翔、橋谷田 真樹、赤根 敦

関西医大・法医学

学術集会第2日（11月18日）

- O-15 RMplex を用いた日本人集団における RM Y-STR 変異率の解析  
小田切 智海、佐藤 紀子、塩崎 哲也、松本 百恵、原山 雄太、  
林 徳多郎、小林 寛也、浅村 英樹  
信州大学医学部法医学教室
- O-16 *FUT2* 遺伝子変異の地理的分布と進化遺伝学的解析  
中 伊津美<sup>1</sup>、渡部 裕介<sup>1</sup>、古澤 拓郎<sup>2</sup>、木村 亮介<sup>3</sup>、山内 太郎<sup>4</sup>、  
夏原 和美<sup>5</sup>、中澤 港<sup>6</sup>、石田 貴文<sup>1,2</sup>、稲岡 司<sup>7</sup>、松村 康弘<sup>8</sup>、  
大塚 柳太郎<sup>9</sup>、大橋 順<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京大、<sup>2</sup>京都大、<sup>3</sup>琉球大、<sup>4</sup>北海道大、<sup>5</sup>東邦大、<sup>6</sup>神戸大、<sup>7</sup>佐賀大、  
<sup>8</sup>文教大、<sup>9</sup>自然環境研究センター

理事会 11:30~12:30（2階・研修室2）

理事の先生方のみご参集ください。

展示発表 II（偶数番号） 13:00~14:00（2階・研修室1）

- P-2 絶滅危惧種ニホンイヌワシの主要組織適合性複合体（MHC）遺伝子クラス II のロングリード解析  
内藤 アンネグレート素<sup>1</sup>、鍋島 圭<sup>2</sup>、佐藤 悠<sup>2</sup>、村山 美穂<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京都大学野生動物研究センター、<sup>2</sup>国立環境研究所・生物多様性領域
- P-4 蛍光プローブを用いた融解曲線解析とエンドポイント法による rs2000999 とハプトグロビン遺伝子欠失の同時解析法  
副島 美貴子、神田 芳郎  
久留米大学医学部
- P-6 MIG-seq 法を用いたシモキタシブキツボ *Fukuia ooyagii* Minato, 1982 の遺伝的多様性の解析  
北野 誉<sup>1</sup>、梅津 和夫<sup>2</sup>、大八木 昭<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>茨城大学大学院理工学研究科、<sup>2</sup>山形大学医学部、<sup>3</sup>下北自然学巢

学術集会第2日（11月18日）

- P-8 北海道東部のシュレンクマルハナバチにおけるミトコンドリア DNA の遺伝的多様性  
高橋 純一<sup>1</sup>、梅澤 実鈴<sup>1</sup>、久保 良平<sup>2</sup>、清 拓哉<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>京都産業大学生命科学部、<sup>2</sup>玉川大学ミツバチ科学研究センター、<sup>3</sup>国立科学博物館
- P-10 亜鉛トランスポーターZIP4 遺伝子 SLC39A4 における非同義置換型 SNP 頻度分布  
井上 温人<sup>1</sup>、竹下 治男<sup>2</sup>、荒西 太士<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>島根大学大学院自然科学研究科、<sup>2</sup>島根大学医学部、<sup>3</sup>島根大学生物資源科学部
- P-12 カンキツ果肉中の総カロテノイド含有量や $\beta$ -クリプトキサンチン含有量の増加に寄与するフィトエン合成酵素遺伝子の高含有アレルの簡易判定法  
島田 武彦、野中 圭介、藤井 浩、遠藤 朋子  
農研機構果樹茶業研究部門
- P-14 MIG-seq 法を用いた DNA 多型情報に基づく食物の品種識別技術基盤の構築  
青木 裕一<sup>1,2</sup>、松尾 歩<sup>3,5</sup>、岡野 邦宏<sup>4,5</sup>  
<sup>1</sup>東北大学 東北メディカル・メガバンク機構、<sup>2</sup>東北大学 大学院情報科学研究科、<sup>3</sup>東北大学 大学院農学研究科、<sup>4</sup>秋田県立大学生物資源科学部、<sup>5</sup>株式会社 GENODAS
- P-16 環境 DNA を用いた生物調査において低リード数で検出された代表配列・種は除外すべきか？  
中島 颯太<sup>1</sup>、菅野 一輝<sup>1</sup>、篠原 隆佑<sup>1</sup>、村岡 敬子<sup>1</sup>、金谷 将志<sup>2</sup>、崎谷 和貴<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>土木研究所流域生態チーム、<sup>2</sup>国土交通省河川環境課
- P-18 河川事業への環境 DNA の導入に向けた、調査技術の標準化の取り組み  
村岡 敬子<sup>1</sup>、北川 哲郎<sup>1,2</sup>、相島 芳江<sup>1</sup>、雨貝 則子<sup>1</sup>、篠原 隆佑<sup>1</sup>、菅野 一輝<sup>1</sup>、中島 颯大<sup>1</sup>、崎谷 和貴<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立研究開発法人 土木研究所  
<sup>2</sup>神戸動植物環境専門学校

学術集会第2日（11月18日）

- P-20 腐敗した妊婦から摘出された胎児のDNA型鑑定に関する一考察  
大内 司<sup>1</sup>、関 雪婷<sup>1</sup>、成田 香織<sup>2</sup>、舟山 真人<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東北大学大学院医学系研究科公共健康医学講座法医学分野、<sup>2</sup>宮城県警察科学捜査研究所
- P-22 Report on Age Estimation Based on Mitochondrial DNA Methylation Levels Using Human Blood Samples  
GUAN Xueting<sup>1</sup>, Ohuchi Tsukasa<sup>1</sup>, Hashiyada Masaki<sup>2</sup>, Funayama Masato<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>Department of Forensic Medicine, Graduate School of Medicine, Tohoku University, <sup>2</sup>Department of Legal Medicine, Kansai Medical University
- P-24 東アジア人に特有の身長関連遺伝子が日本人身長に与える影響  
西 健喜、福井 謙二、菅藤 裕子、裕本 紗里、高須 翔志郎、岩楯 公晴  
東京慈恵会医科大学 法医学講座
- P-26 組織所見から病理標本の取り違えを疑われた事例  
北川 美佐、鈴木 廣一、野村 和克、齋藤 高志、佐藤 貴子  
大阪医科薬科大学医学部予防・社会医学講座法医学教室
- P-28 種々の環境下に置かれた歯のヒト特異的DNAの定量  
堤 博文  
日本大学歯学部法医学講座  
日本大学総合歯学研究所社会歯学部門
- P-30 爪からのDNA抽出における前処理法の検討  
落合 恵理子<sup>1</sup>、麻生川 稔<sup>1,2</sup>、入江 渉<sup>1</sup>、佐々木 千寿子<sup>1</sup>、中丸 尚美<sup>1</sup>、  
阪本 桃子<sup>1</sup>、長門 純平<sup>1</sup>、齋藤 準一郎<sup>1</sup>、杉澤 正俊<sup>2</sup>、佐藤 文子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>北里大学医学部法医学、<sup>2</sup>日本電気株式会社
- P-32 ベイズ推定法を用いたマルチアレルマーカールにおける Hardy-Weinberg 平衡の評価  
福田 真未子<sup>1</sup>、橋谷田 真樹<sup>2</sup>、加藤 秀章<sup>1</sup>、青木 康博<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>名古屋市立大学法医学分野、<sup>2</sup>関西医科大学法医学

学術集会第2日（11月18日）

- P-34 同胞相姦における尤度比：同祖的遺伝子を辿って  
野村 和克、北川 美佐、鈴木 廣一、齋藤 高志、佐藤 貴子  
大阪医科薬科大学医学部予防・社会医学講座法医学教室

招待講演 14:10～15:10（1階・ホール）

座長：水上 創（金沢医科大学医学部法医学講座）

「遺伝学的検査に基づく個別化医療の黎明期  
～次世代シーケンサの実臨床への応用～」

新井田 要 先生

（金沢医科大学病院ゲノム医療センター センター長

金沢医科大学総合医学研究所先端医療研究領域ゲノム疾患研究分野 教授）

総会 15:20～15:50（1階・ホール）

授与式（名誉会員・優秀研究賞・若手研究賞）

次期会長挨拶

閉会式

15:50～16:10（1階・ホール）